

## 新人戦

(議題の決定について)

今回の新人戦では、不良債権がどのような構造をしており、経済にどのような影響を及ぼしているのか、そして、不良債権を処理するにはどのような方法が効果的であるかという点について議論を行いお互いに不良債権について理解を深めていこうということで、「不良債権について」というテーマに決定しました。

(新人戦当日のディスカッションの流れについて)

### 1. 不良債権が及ぼす影響

・不良債権が金融機関、経済全体にどのような影響を及ぼすのか議論しました。

<金融機関に対して>

- ・自己資本比率低下により企業への貸し出しを抑制してしまうなどリスクテイク能力の低下
- ・自己資本比率を保つために追いが貸し

<経済全体に対して>

- ・貸し渋り、貸しはがしが行われることにより、デフレが進行する
- ・不良債権処理の過程において失業が発生する
- ・消費者に対して不安を生み消費の低迷につながり、資金の流れが滞る

### 2. 銀行の問題点

それでは、不良債権がここまで大きな問題となってしまった原因の一つとして、銀行の行動に問題点はなかったのか議論を行いました。まず長期化の原因として

- ・貸出先に対する自己審査の甘さ
- ・土地担保への貸し出しを安易に行いすぎたため、土地価格が下落したときに担保回収が難しくなった
- ・そして、現在の問題点として
- ・問題を先送りしているため新規不良債権の発生
- ・自己資本比率を保つために衰退セクターに貸し出しを行うため、成長セクターに資金が回らない
- ・企業の危険度に応じた金利のつけ方ができていなかった

### 3. 公的資金・金融政策の是非

ここでは、不良債権処理のためには、公的資金を注入すべきか否か、金融政策を行っていくべきかどうか

という点について、議論を行いました。

公的資金注入については、システミックリスクは回避すべきであるため、金融システム安定化のためにも行う

べきであるし、現状を見る限り、金融機関の力だけでは不良債権処理は難しいため、公的資金注入はやむ終えないのではないかと、ということになりました。また、公的資金を金導入するのであれば、早期に行うべきだと、言うことで意見が一致しましたとなぜならば、年々増加傾向にある不良債権を考慮すれば早めに手を打つのが望ましいと考えたためです。ただし、モラルハザード発生を回避するために、責任の追及を明確に

するなどする必要はある。

また、金融政策は、現在までに行われてきた政策から判断するに、十分な効果があったとは言いがたい。

故

に金融政策を行う場合はそのほかの政策の補助的な役割を目的として行うのが好ましい。という意見がだ

さ  
れま  
した。

#### 4. 解決策のまとめ

最後に不良債権をどう処理していくか、議論を行いました。両ゼミとも金融機関が単独で不良債権処理を行なうのは困難であるため、国の機関が補完的な役割を果たしていくのが望ましいという点で意見が一致しました。

吉家ゼミさんは土地の流動性を高めたり、都市再生を行っていくべきとの意見でした。望月ゼミは、RCCやRTCなどの機関を使い早期に処理していくべきという意見でした。また、吉家ゼミさんの言う都市再生を同時に行うと

というのは、不良債権処理だけで多額の財政支出が予想されるために、同時に行うのは厳しいのではないかと考えました。

不良債権処理に伴う失業などに対する対策として、セーフティーネット等の社会保障を充実させる必要があるという意見があげられました。

以上が新人戦のたまかな流れです